

めあて
文章を正しく読み取ろう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちはいつも、時間というものを意識しています。生活においては食事や出勤など、何時にその行為を行うかが決まっている物事も多く、時間を気にせずに一日を終えるようなことは、現代においては少ないのではないのでしょうか。このような時間は、何かの「基準」にもとづく、物理量としての時間といえます。

一方で、楽しいときは、あっという間に過ぎるように感じ、苦しいときはなかなか終わらないように感じるなど、時間という感覚には主観もかわっています。年齢を重ねるほど、時が経つのが早く感じる、ということも誰が経験することでしょう。

時間はこれだけ私たちの生活とも感覚とも(A)にかかわっていませんが、(B)、①人間の感覚器には、時間に関するものは存在しませんが、(C)、②不思議な概念であり、物理量とい

一方で、長さや温度などに比べて、時間は最も精密に計測できる物理量でもあります。時間とはこのように②不思議な概念であり、物理量とい

うことができます。

(安田正美「一秒って誰が決めるの?」)
※物理量…長さ、質量、時間などの量。※主観…個人的なものの方。
※概念…物事の大まかな内容。

振り返り	四	一	一 (A)にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えましょう。 ア 内密 イ 間接 ウ 密接 二 (B)(C)にあてはまる言葉を次から選び、それぞれ記号で答えましょう。 ア しかし イ そもそも ウ あるいは 三 下線部①とありますが、「感覚器」で感じ取れるものは何ですか。 四 下線部①とは、どういうことですか。 五 下線部②は、「時間」のどんな点を指していますか。次の文の(A)(イ)に当てはまる言葉を、それぞれ2字と10字で答えましょう。
		二 B	
	五 A	二 C	
	五 I	三	